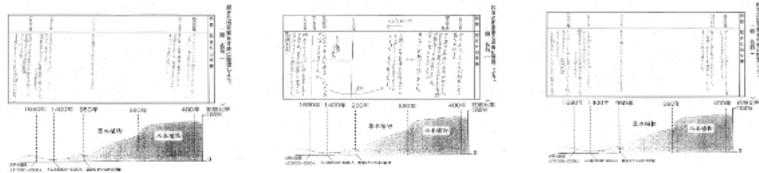


# イースター島にはなぜ森林がないのか（授業後振りかえり）

## 目標

- (1) イースター島に森林がなくなった原因と結果との関係、その結果と筆者の主張との関係について理解することができる。
- (2) 花粉分析の結果とイースター島で起こったことを結びつけ、筆者の論の進め方について考えることができる。
- (3) 筆者の論の進め方について事実を基に考えようとしている。

## 第二次



○起きた出来事（事実）を年表に表し、時系列で整理することで、内容を的確に捉えていた。

△ワークシートに花粉分析の結果を載せたが、果たして読みの深まりにつながったのか疑問に残った。

## ポイント

筆者の結論と関係する事例をきっちりと押さえることが第三次の学習につながる。

## 成果

筆者の考える原因と結論の関係を捉え、論の進め方の工夫について考えることで、評価的に読むことができた。

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	○学習課題をつかみ、学習の見通しを立てる。 - イースター島について知る。 - ペアで教科書を読み、わからぬ漢字の読み、意味、気になるところの3点に分ける。	・単元の目標を明確にめつこができるようにする。	
2	○題名に対する答えを見つける。 - ペアで教科書を読み、わからぬ漢字の読み、意味、気になるところを学級全体で共有する。 - 序論、本論、結論に分ける。	・題名から筆者の伝えたいことを考え、答えを探しながらアで教科書を読む。	
3	○イースター島で起きたこと（事実）を時系列で整理する。	・ペア読みし、イースター島で起きたこと（事実）を時系列で整理する。 - できあがった年表と花粉分析の結果を比較する。	<p>【思考・判断・表現】 発言・ワークシート ○花粉分析の結果とイースター島で起きたことと結びつけ、筆者の論の進め方について考えているかの確認</p>
4	○イースター島から森林がなくなった原因を読み取る。	・キーワードや接続語に着目し原因を読み取る。 - 人間による森林破壊（農地、丸木舟、宗教的・文化的な目的）とラットによる森林の生態破壊という2つの理由であることを読み取り、筆者がはっきりと事実だと示しているのはどちらか文末の表現を基に考える。	<p>【知識・技能】 ノート ○イースター島に森林がなくなった原因と結論との関係、その結果と筆者の主張との関係について理解しているかの確認</p>
5	○筆者の考える原因と結論の関係を捉える。 - 筆者の考えと具体例を関連づけて読み取る。	・「ひとたび自然の利用方法を誤り、「健全な生態系を傷つけてしまえば」、「文化も人の心も流れてしまい」とは、具体的にはどんなことか、それぞれ文脈を基に考える。	<p>【思考・判断・表現】 発言・ロイノート ○文章と花粉分析の結果を結びつけ、筆者の論の進め方について考えているかの確認</p>
6	○筆者の論の進め方の工夫について、自分の考えを書く。	・筆者の主張のために、イースター島の例をしたことについてどう思うか、理由とともに考える。	
7（本題）	○筆者の主張に対して必要な情報について考える。	・意見が出てにくい場合は、発問の意図がわかるように支援する。	

※「主体的に学習に取り組む態度」については単元を通して評価する。

## 課題

## 第三次

○文章をよく読み内容を的確に捉えることができていた。また表現の曖昧さにも注目し、「なぜこのように書かれているのか」を考える姿が見られた。資料のグループピングをしたことで子どもの考えを可視化できた。

△筆者の主張のために「イースター等の例を使ったことについてどう思うか」と「他に詳しく書いてほしいことは何か」という発問は、結果的に同じことを書く児童が多かった。また筆者の意見に納得できるかを数字で表すのは、意味づけが難しいのでなくともよいかも？

## ポイント

児童から出た意見をすべて扱うのではなく、二つに絞ってそれぞれの立場で児童が考えて意見交流する時間にするとより時間に余裕ができる。また発問はより明確にして、「問い合わせの意図」と「子どもに考えさせたい方向」を絞り込むと、思考が深まりやすくなる。

児童によって評価的な読みの深さに大きな差があった。児童の考えの違いに焦点を当て、意見交流の時間をとるべきだった。